

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名(社会医療法人恵仁会)

SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2) 【R5.11.30様式改定】

カテゴリ	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得証拠があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			医療・介護従事者の基本的姿勢と共に、職場内においてもあらゆる雇用条件に関わらず差別をしない体制構築がなされている					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3					16.1 16.2 16.7		
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本			ハラスメントを禁止する旨を就業規則に明記し、相談窓口を設置している。また研修等で周知を図っている。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8							16.1		
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			労働基準法等の周知徹底を管理職を中心に図ると共に、残業時間の削減、柔軟な勤務体制の整備対応を行っている								8.5 8.8									
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本			経済連携協定に基づく介護福祉士候補者の受け入れを継続的に実施し、適切な処遇や環境整備を行っている				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			法人内に安全衛生委員会が設置されており、啓発活動、ポスター掲示、施設内の安全パトロール等を年間を通して実施している			3					8									
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			メンタルヘルスに関する方針と計画を策定、相談窓口を設置し、定期的な面談、医師等による指導を行っている			3														
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本			人材育成として外国人介護福祉士候補者の受け入れ、アクティブシニアの積極的雇用、男女問わない産休・育休制度。職員の活躍の広報面での情報発信も積極的に行っている。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			全体研修、階層別研修、資格取得サポート等の職員のキャリアプラン支援体制の整備や、研修などの動画コンテンツのライブラリー化への取り組み				4	5.5			8	9								
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			職務内容役割、責任の重さに応じた体制を整備している					5.5			8.5		10.2 10.3							
10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ			自社スポーツジム推進、自社提供の健診など、医療介護サービスを提供する事業体として、職員の健康管理や健康意識の向上について研修などで取り組んでいる			3					8									
環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			ゴミの分別徹底と削減、医療資源の無駄使い削減、食品ロス削減等を運営方針へ記載。廃棄物の種類、量を把握し、削減に向け呼びかけ活動も実施中										11.6	12		14.1				
	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			定期的に社内報にて使用状況を共有中							7.3					13					
	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			実際のエネルギー使用量を継続的に把握し、エネルギー消費の削減量の比較データを更新し続けている							7.2 7.3				12.4	13.3					
	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本			エネルギー削減量数値での省エネ計画を実施中			3.9		6.3					11.6	12.4						

カテゴリー	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (果などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本			有害化学物質を把握し、使用量、使用方法を適切に行っている						6.6									15		
16	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本			活動が環境に悪影響を及ぼさないよう配慮し、また、環境保全のクリーン活動を定期的の実施している。												13		14.1			
17	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ			上水道、下水道ともに使用量を把握し、削減等の計画を策定している						6.4 6.6											
18	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ						3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ															12.6					
20	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ										7.2						13				
21	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ															12.2	13	14	15		
22	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本			就業規則に定め、汚職・贈収賄を含む行動規範について職員教育制度を通して周知を図っている。															16 16.5		
23	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本			就業規則で周知徹底している																16	
24	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本			法人ロゴマークの商標登録等、知的財産の取得・管理を行っている。								8.2 8.3	9								
25	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本			個人情報保護方針を策定し、公表している。社内研修等でも情報管理ツールの使用は厳密にルール化され使用方法を周知徹底している。職員に対しても就業規則に定め、社内研修を行い職員に周知徹底している																16	
26	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ			鉱物資源を取り扱っていない																16	
27	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ		【予定】	【予定】事業パートナー等とともに、取り組んでいけるよう計画していく					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28	【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5～追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本		【予定】	今後検討課題としていく予定			3					8	9	10							17

		チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (果などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																							
29	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本			サービス提供時に想定されるリスク管理や対策を実施している。事故報告、ヒヤリハット等は社内ネットワーク上で集積され、安全推進委員会で分析・共有され、安全性の高い仕組みを構築している			3.9									12.4					
30		【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本			多職種連携のための各種連携会議、ワーキンググループ・満足度向上委員会等が設置されており、サービス向上、クレーム対応等、サービス改善に努めている									9								
31		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ		【予定】	製品の開発・設計は行っていない						6						12	13	14	15		
32		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ			少子高齢化社会における地域包括ヘルスケアシステムの構築や地域活性化への関わりを推進している	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
33	地域・社会貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本			地域の保健医療福祉のより良い提供体制の構築を目標とし、交流、対話、説明を随時行い、地域のニーズ把握に努めている				4					9		11	12		14	15		17
34		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ			法人で地域コミュニティスペースを開設し、地域活動の活性化に取り組んでいる。他クリーンデイの実施による街の美化等。消防団協力事業所表示制度に加入				4							11			14	15		17
35		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ			病院・施設等での食事提供時、地元野菜等を積極的に利用している								8	9		11	12	13				
36	組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有している	基本			経営理念が明文化され、経営者が定期的に研修等を通して理念・経営目標を職員へ説明・共有する機会を設けている								8	9								17
37		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本			社内報、研修等でコンプライアンス(法令順守)に関する情報と重要性を適時発信し、周知を図っている																16	
38		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本			法人の社会的責任(CSR)において責任者を任命している																16	
39		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している (※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	基本			関係市町村、利用者、家族、金融機関、職員との連携を図り、総合的なサービス向上に努めている																16	17
40		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ			安全推進委員会において毎月報告されるヒヤリハット等の報告と考察、対策を策定するリスクアップで評価を行い、適切な対策を講じている																16	
41		【社会的責任】 ・CSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ			地域医療の担い手という社会的責任を果たすべく、法人の内外を問わず保健医療福祉のより良い連携体制の整備を進めている																16	
42		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ			災害時BCP(水害想定)の定期的な見直しと訓練を実施。新型インフルエンザ等(含COVID19)感染症対応BCPの定期的な見直しも実施している									9		11		13 13.1			16	
43		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ			運営委員会、管理職会議等で今後の運営について随時検討している。								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
地域に必要な事業の構築と展開		高齢者及び障がい者（児）に対応した包括的なヘルスケアサービスの実施。			3. 3							10. 2							
まちづくりへの貢献		地元区と連携しまちづくりに貢献する。地域交流や新しい取り組みへの挑戦を進め、まちづくりを通して地域活性化に寄与する											11. 3						17. 1 6
地域のヘルスリテラシーの向上		オレンジカフェ、認知症サポーター養成講座、健康教室へのトレーナー派遣やスポーツ支援などを通して地域の健康意識向上へ貢献する			3. d	4. 7								12. 8					

【記載留意事項】
・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。 （※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件 2」は、ISO26000（※ 1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※ 2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、**赤字**で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
 - ※ 1…組織の社会的責任に関する国際規格
 - ※ 2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定